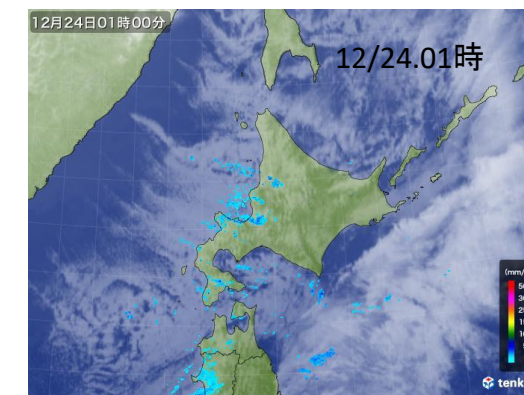
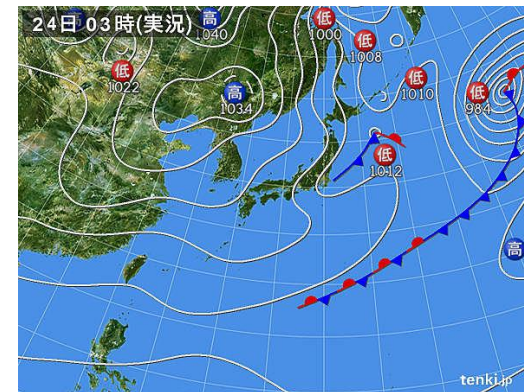
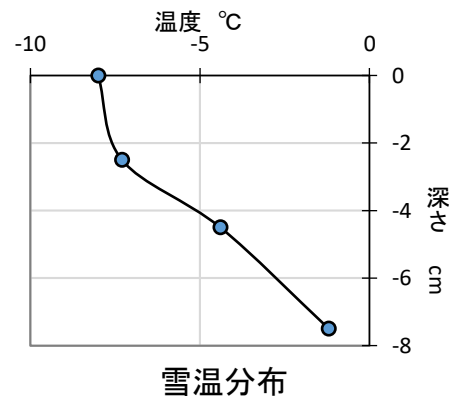
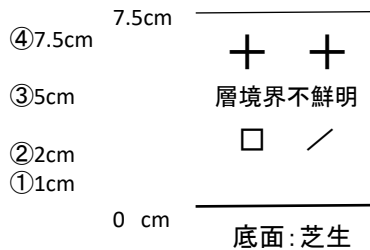


④は積もって間もない新雪(12/24の雲粒付き降雪、結晶系はほとんど見られない。典型的な冬型の降雪、これがパウダースノー)
 ③②①は12/21,12/20の降雪、最初は雲粒付き降雪、第7号参照。
 12/22-23日の放射冷却で、こしも化(第8号の②③④参照)。
 第8号から24時間後に今回の写真の様に「こしも」が発達した。
 角ばった結晶が大きくなった。



12月24日の降雪(※)は弱い冬型で降った。
 この降雪は④の写真の様に「雲粒付き」

12月24日7:00 曇り、気温-5.5℃
 12/23-24はほとんど冷えていないが、積雪下方の温度勾配は大きいまま。そのため、しもざらめ化が進んだ。底面近くは「こしも」の特徴が顕著である(角ばっている)。雲粒つき降雪も条件によっては2~3日程度で「こしも」に変わる。この雪は「脆い」性質が持続する。